

今号の作業

フロントブレーキレバーを取り付ける



今号では、フロントフォークのハンドルバー右側に「フロントブレーキレバー」を取り付け、ブレーキホースを左フロントダンパー後方に差し込む作業を行う。注意点はブレーキホースの扱い。付け根からホースが外れないよう、丁寧に作業を進めよう。

今号のパーツ



- ①フロントブレーキレバー×1
- ②フロントブレーキレバーホルダー×1
- ③ビス(Oタイプ)×2

※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。
※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様異なる場合があります。

用意するもの

- ・マスキングテープ
- ・発泡スチロールの端材(切れ端程度でいい)
- ・フロントフォーク(10号で組み立てたもの)

使用する道具

- ・+(プラス)ドライバー(1番)

あると便利な道具

- ・プラスチックモデル用塗料(黒)&塗装用の筆

STEP
1



ハンドルバー右側



フロントブレーキレバー

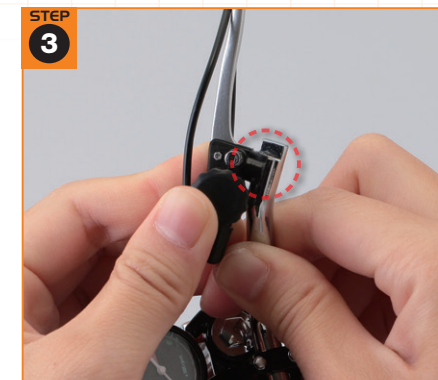
10号で組み立てたフロントフォークを用意し、写真で示したハンドルバー右側と①フロントブレーキレバーの形状を確認する。ハンドルバー側とブレーキレバー側がかみ合う形状になっていることを確かめておこう。

STEP
2

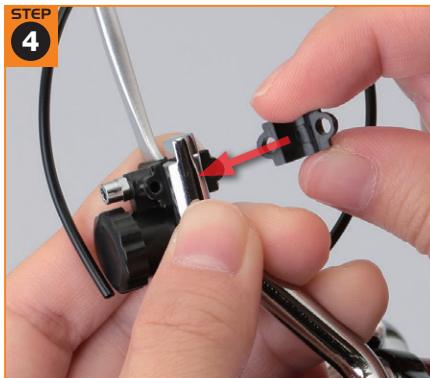


作業前にあらかじめ手元に②フロントブレーキレバーホルダー、③ビス(Oタイプ)2本、1番の+(プラス)ドライバーを用意しておく。まず、ハンドルバー右側の先端部分に、フロントブレーキレバーを写真のようにセットする。フロントフォークを台に置いた状態で作業するといいだらう。

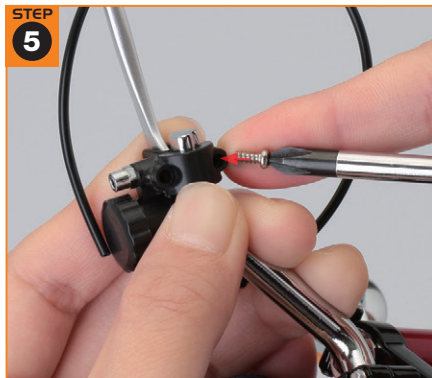
STEP
3



フロントブレーキレバーをハンドルバーにセットしたら、正しくかみ合うように位置を調整して押さえておく。



フロントブレーキレバーが脱落しないよう保持したまま、フロントブレーキレバーホルダーをセットする。フロントブレーキレバーはずれやすいので、焦らず慎重に作業しよう。



Oタイプのビスを用意し、写真で示したビス穴にセットし、1番の+(プラス)ドライバーで軽く2回転ほどねじ込んでおく。この段階では強く締め込まないように注意しよう。



もう片側のビス穴にもOタイプのビスをセットし、1番の+(プラス)ドライバーで2回転ほどねじ込む。次に、⑤でねじ込んだビスと交互に半回転ずつ締め込んで、フロントブレーキレバーをハンドルバーに固定する。ビスを強く締め過ぎると樹脂パーツが破損する恐れがあるので、慎重に作業すること。



フロントブレーキレバーを固定すると、ビスをねじ込んだ部分が白っぽく変色してしまう場合がある(樹脂パーツの特性)。その場合はプラスチックモデル用塗料(黒)で変色した部分を塗装し、目立たないようにするといい。



フロントフォークを立て、フロントブレーキレバーから伸びているブレーキホースの先端を、写真で示したトップブリッジの開口部に通す。このとき、ブレーキホースの付け根部分に、無理な力が加わらないよう注意すること。



ブレーキホースをヘッドライト裏側から左フロントダンパー側へと引き出し、写真で示した取り付け穴にセットする。ブレーキホース先端をしっかりと穴に差し込む。

今号の完成



これで今回の作業は完了だ。ハンドルバーの右側にブレーキレバーが備わり、ブレーキホースの取り付けも完了した。しかし、このままの状態では保管すると、取り付けしたブレーキレバーが破損してしまう恐れがある。そこで発泡スチロールの端材を使い、マスキングテープで留めて台座とし、フロントフォークを写真のように寝かせた状態で保管しよう。ハンドルバーおよびフロントブレーキレバーが接地しない状態になっていればOKだ。